

2021年7月2日 第3359回例会

於：メルキュールホテル横須賀『パリ』



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 朴 特彦 (パク シオン) 様

<誕生月祝> *瀬戸 映 男 (S.26.7.2) *上 田 博 隆 (S.44.7.2)

*小 山 陽 生 (S.36.7.9) *大 野 健 男 (S.60.7.12)

*新 倉 良 是 (S.48.7.16) *鷺 尾 精 一 (S.38.7.16)

*小 山 美 智 恵 (S.46.7.19) *伊 藤 隆 義 (S.18.7.21)

*波 島 顕 明 (S.8.7.22) *村 瀬 賢 正 (S.9.7.23)

*松 本 明 弘 (S.26.7.28) *杵 渕 哲 也 (S.47.7.31)

*二 瓶 淨 幸 (S.29.7.31)

各会員

<入会月祝> ・徳 永 良 輔 ・勝 間 佳 枝 ・福 西 美 子 ・鈴 木 豊 司

・西 村 京 子 ・中 村 正 ・梁 井 康 市 ・鷺 尾 精 一

各会員

<会長報告> *ガバナー事務所より

・クラブ活性化ワークショップ開催のご案内について

7月31日(土) 12:30~17:00 藤沢商工会館ミナパーク6F (会長エレクト)

YouTubeでのライブ配信 (その他リーダー)

<米山奨学生へ奨学金授与>

<委員長報告> *雑誌委員会 福西委員長よりロータリーの友7月号

*鈴木(兼)カウンセラーより

ロータリー財団奨学生出発前オリエンテーション及び壮行会 報告

<幹事報告> *ガバナー月信 No. 1

*会員証の配布について

<出席報告> *出席委員会 加藤(兼)委員長より7月2日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
121名	112名	90名(9名)	22名	1名	81.25%

<ニコニコ報告>

・三 役 米山奨学生 朴 特彦さん、ようこそお出でくださいました。今年度もよろしくお願ひします。

・小山(兼)、鈴木(兼)、高橋(兼)、佐久間、小山(兼) 各会員

米山奨学生 朴 特彦さん、ようこそお出でくださいました。例会をお楽しみください。横須賀ロータリークラブは朴さんを見守り続けます。

・瀬戸、上田、小山(兼)、大野(兼)、新倉(兼)、鷺尾、

小山(兼)、波島、松本(兼)、杵渕、二瓶 各会員 誕生月祝いとして

・徳永、勝間、福西、鈴木(兼)、鷺尾 各会員 入会月祝いとして

・三 役 今日から新年度です。会員の皆様よろしくお願ひいたします。

・大野(兼)、長谷川、田村、比護、Loknath、田中(兼)、加賀本、木村、畑、猿丸、植田、織茂、勝見、角井、勝間、福西、上林、小平、高橋(兼)、中村(兼)、

谷、小林(兼)、波島、野坂、若麻績、川出、三堀、二瓶、小佐野、新倉(兼)、

浅葉、佐久間、渡邊、澤田、江沢、藤村、加藤(兼)、後藤、北村、

根岸、関口、田中(兼)、岡田(兼)、吉田、杵渕、鈴木(兼)、江口、田邊、

外木、鈴木(兼)、徳永、加藤(兼)、岡、長尾、小林(兼)、齋藤(兼)、兼城 各会員

2021-22度横須賀ロータリー八巻年度の開幕です。三役はじめ新委員の皆様、1年間よろしくお願いいたします。

- ・齋藤 倫 会員 本日、地区米山指定校説明会の為早退いたします。本年度もよろしくお願いいたします。
- ・佐久間 会員 野坂会員には、私共夫婦の素敵な記念写真を撮っていただき、ありがとうございました。
- ・八 巻、Loknath、齋藤 眞、上 林、佐久間 各会員 横須賀港から新門司港を結ぶ、夢の新フェリー「はまゆう」「それいゆ」就航おめでとうございます。なんと露天風呂付、星空を眺めながら一杯やりたいな！
- ・大 石、齋藤 眞、小山 隼 各会員 二刀流「大谷翔平」ホームラン王へ突き進め！メジャーリーグホームランダービーも頂きだ！
- ・山 下 会員 SAA小山様、まずは口を滑らかに「きやりーぱみゅぱみゅが東京特許許可局に、カエルびよこびよこ三びよこびよこ」

<卓 話>

三役・理事・SAA 挨拶

1. 会 長

八 巻 敏 博

中国からアジア、そして全世界と拡大した新型コロナ感染症により、ロータリークラブも大きく影響を受けたのは、皆様、よくご存じのとおりです。当横須賀ロータリークラブも田邊会長年度、岡田会長年度と例会や活動の中止を余儀なくされ、特に会員の皆様との例会での懇談、当クラブの特色でありますテーブルミーティングや夜間例会といった親睦活動も大きく制限されました。

その一方で、Zoomを併用したハイブリッド例会、地区研修・協議会の YouTube を利用した全体会議、eラーニングでの分科会等、これからの地区等の会議・委員会開催等が大きく変化・前進した年でもあったと思います。

こうした中、1951年（昭和26年）27名のチャーターメンバーで発足した横須賀ロータリークラブも昨年度70周年を迎え、先週6月25日の70周年記念例会は、ドローン撮影やYouTube 配信等新しい試みも行われ、ロータリーバンド等の演奏で大変盛り上がり、記憶に残る例会であったと思います。

このような歴史と伝統のある、また、新しい事柄への対応も積極的に取り組んでいる当クラブの会長として務まるか正直、不安な気持ちも一杯ですが、会員皆様方のご協力により、精一杯努めて参ります。

本年度シェカール・メータRI会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)および昨年度採択された当クラブの中期ビジョン「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる。」を活動の軸として、クラブの更なる活性化を図って行きたいと存じます。

本年度も先行きが不透明で例会等コロナ以前の状態に戻るのには、中々難しいとは思いますが、こうした変化を新しい潮流と捉え、ロータリー活動に上手に取り入れ、時代の変化に負けない力強いロータリークラブにして行く必要があると考えます。

各カウンセラー・理事・委員長の皆様を先頭に会員全員一丸となって明るく楽しい、そして力強い横須賀ロータリークラブを作って行きましょう。

一年間ご指導ご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。

2. 副会長（クラブ管理運営委員会担当）

前 田 長 生

会長を補佐して円滑なクラブ運営に努め、会員の皆様が楽しく生き生きと奉仕されるよう、私はクラブと会員の皆様に奉仕をして参ります。一年間、よろしくお願いいたします。

また、クラブ管理運営部門の役員として、4つの委員会を担当しています。まずは会報委員会ですが、畑宏明会員に委員長、カウンセラーは田邊一三会員にお願いしました。会報の作成は大変な作業ですが、我々のロータリー活動の基盤となる例会の記録は永久保存版です。総勢27名の多才かつ有能な担当委員の方々に卓話を中心とした素晴らしい内容の会報の作成をお願い致します。

次に、雑誌委員会です。委員長は福西美子会員、カウンセラーは丸山晁巨会員にお願いしました。雑誌「ロータリーの友」を通じて、国際ロータリーからの新鮮な情報と国内外のロータリアンの奉仕活動について、会員の皆様に分かりやすいご紹介をお願い致します。

つづいて出席委員会です。委員長は加藤淳会員に、カウンセラーは吉田清会員にお願いしました。コロナ禍で Zoom による例会出席が可能となり、むしろ出席率は伸びたように思われますが、より一層の出席率の向上をご報告をお願い致します。また出欠席の事前確認は大変な作業ではありますが、会員の皆様のご協力をお願いして、フードロスの無い例会を目指しましょう。

最後はクラブ運営の基盤として大きな役割を持つ親睦活動委員会です。委員長は小山美智恵会員に、カウンセラーは野坂英八会員にお願いしました。この委員会は新会員の多くで構成された総勢27名の大きなグループです。コロナ禍でテーブルミーティングも開催できず、新会員の方々との交流もままならない状態が続いていますが、是非とも会員の皆様との親睦を深めていただき、そのうえで大変ではありますが例会の準備と運営、また年間行事のサポートをよろしくお願い致します。

3. SAA

小山陽生

昨年度、齋藤眞且さんの厳しい指導の下、副SAAをしてきましたので皆様にご迷惑をお掛けすることとは無いと自負しています。ただし、私も何故か活舌が悪く、皆様がお聞き苦しいこともあるかと存じますがお許しください。

SAAは日本語で会場監督という意味だそうで私自身は監督という雰囲気ではなく、皆様と同じ選手としてのキャプテンのような姿勢で臨めたら良いなと思っています。監督不在の中での例会になってしまうので、各自が規則を守っていただき、楽しくて暖かい例会を目指しますのでご協力また、厳しい目で私を見ていただければ間違いを起こすことは無いだろうと存じます。

また、副SAAには兼城さんがしっかりと私をフォローしてくれる約束になっていますので皆様、どうぞご安心ください。

こんなSAAですが、ニコニコのキャッチコピーを周到に考え、皆様から沢山の寄付をして頂き、目標として年間200万円を超えるようにしたいと思っております。

今年度、八巻会長を盛り上げ、私や皆様にとって充実した例会を築けるよう宜しくお願いいたします。

4. プログラム・公共イメージ委員会担当理事

植田 威

本委員会は「プログラム委員会」「広報・公共イメージ委員会」「IT委員会」「Zoom委員会」で構成されています。

「プログラム委員会」においては、例会の基本であるプログラムがすべてのクラブ会員にとって興味深く魅力ある内容を提供して参ります。その結果、例会への出席が楽しいものとなり、例会が活気づくよう努力致します。

また、「広報・公共イメージ委員会」と「IT委員会」は連携し、RIの五大奉仕の理念、クラブの中期ビジョンを追求するために、会員はもとより地域社会へのクラブの多様な奉仕活動の情報発信を紙媒体とITとの組み合わせで絶え間なく進め、クラブの広報活動を通じて認知度の向上を図ります。

最後に新型コロナウイルス禍のなか、状況に応じた安全安心な例会への出席を保障するため、Zoomでの例会出席の環境を維持運営して参ります。会員皆様のご協力をお願いいたします。

5. 会員増強・会員維持委員会担当理事

山下和男

当クラブは本日現在121名という2780地区最大のクラブです。

ロータリーの奉仕活動を幅広く積極的に実践するには、クラブ運営にとって会員増強・会員維持が必要不可欠な要件であるとの認識のもと、「ロータリー情報・研修委員会」「職業分類委員会」「会員選考委員会」「会員増強・会員維持」各委員会との連携を強化して、より一層の会員増強を目指してまいります。

会員増強・会員維持を担当委員会だけではなく、クラブ全体の事業を捉えまたクラブ会員の皆様に会員の増強・維持を意識していただける（Each One Bring One!）事業を目指し継続して取り組んでまいります。

特に今年度は、会員維持のため各委員会が有機的に活動をしていく所存でございます。

6. 奉仕プロジェクト委員会担当理事

藤 村 昌 一

奉仕プロジェクト委員会として、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の3委員会を担当させていただきます。

今年度の地区ビジョンでは、「地域社会の変化とニーズ」をとらえた奉仕プロジェクトを通じて「地域社会にインパクトを与える」、という方針が示されていますが、現状のコロナ禍で、当クラブが例年取り組んできた、職場体験学習や1万メートルプロムナード、フィリピンのVTT等のプロジェクトはいずれも中断や休止を余儀なくされております。この先、短期間で状況が好転するか分かりませんが、感染終息を前提に再開の準備を進めてまいりたいと思います。特にVTTのような国際プロジェクトの場合、出入国の制約が解けないケースも考えられますが、その場合は、マイロータリーを利用したプロジェクトの広報や発信のような、人の移動を介さずに出来ることを工夫できたらと考えております。また、ロータリーデーの募金活動や1万メートルプロムナードですが、今年度は第1グループ5クラブ参加による共同開催を検討しております。実現すれば、例年以上の大規模なイベントとなる予定です。その折には、3委員会の委員長や委員の方々はもちろんのこと、大勢の会員の皆様にご参加いただくことになると思います。この場をお借りして皆様のご理解とご協力をお願いできたらと存じます。どうぞよろしく願い申し上げます。

7. 青少年奉仕委員会担当理事

勝 見 慎 一

今年度、青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会の3委員会を担当させていただきます。この3委員会は次世代の青年男女の活動を支援し、育成していくという共通の目的をもった委員会の集まりです。

担当理事といたしまして、各委員会のカウンセラーである北村カウンセラー、青少年奉仕委員会 曾我委員長、ローターアクト委員会 角井委員長、インターアクト委員会 鈴木之一委員長の皆様と連携をとり、各委員会の活動を支援していければと思っております。昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、横須賀ロータリー、ローターアクト、インターアクトとの交流が中々出来ませんでしたので、今年度はコロナの状況を踏まえて合同での例会や行事を行えればと考えております。

また、地区の青少年奉仕委員会の委員長を岡田前年度会長がされますので、地区の青少年奉仕委員会の情報などもクラブに発信していければと思っております。

会員の皆様におかれましては、今まで以上に各委員会の活動にご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

8. ロータリー財団・米山奨学委員会担当理事

高 橋 隆 一

ロータリー財団(以下、R財団)への皆様からのご寄付は世界中の人々への奉仕活動に使用されています。

ポリオの撲滅をはじめとする健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする活動に充てられ、財団の補助金は教育支援や貧困救済等に活用されています。

当クラブのVTT特別委員会が地区財団活動資金からの資金提供を受けて、フィリピンにおける口唇口蓋裂治療事業を精力的に継続していることは皆様もご周知の通りです。

また、米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は日本の全クラブの共同事業に発展しました。

勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援しています。

将来祖国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。この中で優秀とは「学業」に対する熱意や優秀性は無論のこと「異文化理解」「コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点を含んでいます。

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話、クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

米山奨学金のシンボルマークは重なり合うハートです。「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという事業創設の願いが込められています。

会員の皆様にはR財団の奉仕事業と米山記念奨学事業の意義を深くご理解頂き、国際ロータリー第2780地区の年間目標であるR財団にお一人200ドル以上、ポリオプラス目標に40ドル以上、ベネファクター一名、米山記念奨学会にお一人20,000円以上のご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からのご協力でR財団米山記念奨学事業は成り立っています。よろしくお願いいたします。

9. 幹事

齋藤真且

前年度は滑舌の悪いSAAを優しく見守ってくださりありがとうございました。

前年度の岡田執行部はコロナ禍にもかかわらず、見事なまでに横須賀ロータリークラブの存在感を周囲に示してくださいました。岡田会長の行動力と発想力、鈴木幹事のタフな対応力の賜物ではないかと思えます。三役のおひとりの八巻副会長は、見かけとは裏腹に非常に身軽に行動されます。コロナにより前年度は幾度となく会場の引越しを余儀なくさせられました。その度に八巻副会長は先頭に立ち自社のワゴン車を提供され、会議所3階の例会機材を1階に下ろし、運び、本来ならSAAがしなければならない例会場のセッティングを率先して手伝ってくださいました。そのような人となりますから周囲からの信頼も厚く行動力は充分です。人を思いやる心は人一番です。1年間側で見てきた私は思えます。私はそのような会長から幹事のご指名をいただき、光栄である思いと通常あり得ないSAAから連続しての幹事への不安で戸惑っていましたが、実際八巻会長も過去にSAAから幹事を連続してされたと聞き自分も挑戦してみようという思いでお引き受けいたしました。

さて、すでに幹事の仕事は始まっていますが、その中の1つに例会の出欠確認があります。出欠確認は岡田年度から始められた取り組みで、今年度も引き続き先週から始まっています。出欠確認はZoom出席の把握、着席数の決定、フードロスの削減などこれからのロータリークラブにとって持続可能な重要な取り組みであると考えています。

毎回2週間くらい前にメールでお送りしています出欠確認メールには多くの会員の方々からお返事をいただいています。残念ながら毎回10名近くの方が未回答になってしまいます。それに対処するため正副会長をはじめ事務局の三宅さん・出席委員長・親睦活動委員長・正副SAA・猿丸会員と私とで出欠確認チームを立ち上げ、手分けをして例会3日前に出欠を確定するようにしています。私たちが楽をしようと申し上げている訳ではありません。出欠確認メールに皆様のご協力をしたいと思っております。

1年間よろしくお願いいたします。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻会長

週報担当 馬場 亮